

# 「北海道」版

※細部を修正する場合があります

## ケース

切手帳閉時のイメージ



表紙見開き

種類	80円郵便切手 1シート5枚
① 新巻刷とタンチョウ	2008年に開催された「北海道動物園サミット」の会場となった洞爺湖の湖岸と北海道の島であるタンチョウ、千代記念賞の銀杯を基に、デザイン化した切手。
② 玉塚郷	洞爺湖にある江戸時代末期に建設された最長の橋脚。
③ 美幌の風景	美しい産物の「庄の町」として知られる美幌町の風景。
④ デリオネ	洞爺湖湖岸にある洞爺湖公園などで多く見られる種類の一種。
⑤ 小樽の風景	小樽市を流れる小樽運河を眺む風景。
⑥ 北海道の島「タンチョウ」	
⑦ 黒田 健生	
⑧ 栗田 晃	
⑨ 岡 勲則	
⑩ 及び寄附 佐藤昌典	
デザイン	渡辺史見(切手デザイナー)
発行日	平成20(2008)年7月1日(火)
紙式紙色	グランド6色
シート数	① 縦 36.0mm × 横 30.0mm ②-⑤ 縦 30.5mm × 横 25.0mm ⑥-⑩ 縦 29.0mm × 横 23.0mm ⑪-⑬ 縦 23.5mm × 横 28.0mm
印刷寸法	縦 173.0mm × 横 93.5mm

P1. 切手の解説



P2. 切手本券

### 北海道

北海道は四方を太平洋、日本海、オホーツク海に囲まれ、雄大な起伏に富む山岳、広大な植原の天然湖沼などにより形成されています。

世界自然遺産に登録されている「知床」をはじめ、豊かな自然があり、季節を問わず、多くの観光客が訪れます。

また、農産品、水産品など魅力ある食の宝庫でもあります。

**北海道章**

道章は、昭和時代の道章のイメージを七芒星として現代風に書き直したもので、きびしい風情に即ち先人の開拓者精神と、輝かしいひまわりを象徴したものです。

(昭和42年5月1日創設)

**北海道の鳥(タンチョウ)**

タンチョウは、道民のみならずの愛護により、昭和39年(1964)年に指定されました。飼育で多い「家鴨」とも北海道を代表する鳥として広く親しまれており、独自の気候風土に適応して保護されています。

また、主な生息地である洞爺湖周辺は、ラムサール条約の登録地であり、保護を受けて保全されています。

**北海道の花(ハマナス)**

ハマナスは、北海道10年を記念して一般公募を行い、「純粋、野性的で力強い」「花の色が鮮明で、葉も美しい」「生命力が強く育てやすい」など、北海道にふさわしい花という多くの意見により、昭和47年(1976)年に指定されました。

P3. 県の解説

「北海道」の  
裏面「大正100年」

100円硬貨の裏面に「大正100年」の文字が刻まれている。これは、大正100年(2025年)を記念して、硬貨のデザインが変更されることを示している。

P4. コイン (裏面)

「北海道」の  
表面「HOKKAIDO」

100円硬貨の表面に「HOKKAIDO」の文字が刻まれている。これは、北海道の観光や産業を促進することを目的としている。

P5. コイン (表面)



P6. 緩衝材



# 「島根県」版

※細部を修正する場合があります

切手帳閉時のイメージ



ケース



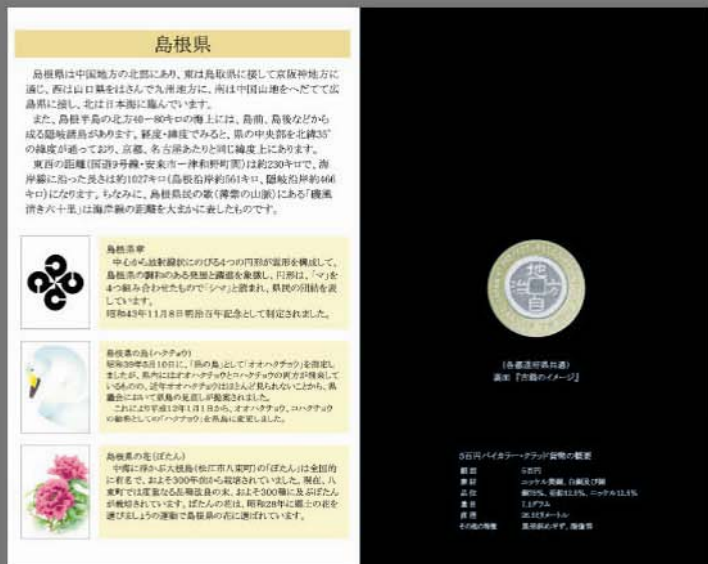
表紙見開き



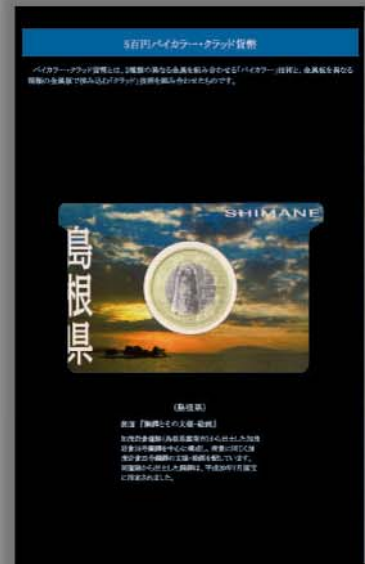
P1. 切手の解説



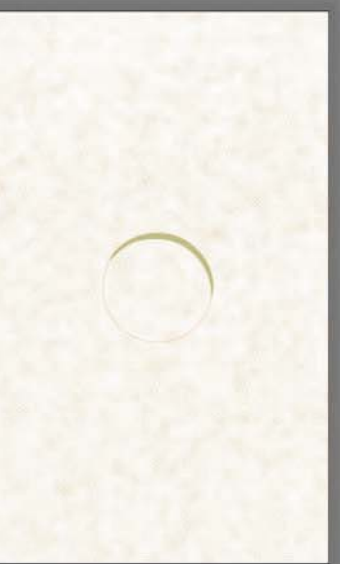
P2. 切手本券



P3. 県の解説



P4. コイン (裏面)



P5. コイン (表面)



P6. 緩衝材